

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3147797号
(U3147797)

(45) 発行日 平成21年1月22日 (2009. 1. 22)

(24) 登録日 平成20年12月24日 (2008. 12. 24)

(51) Int. Cl.

F 1

A 4 4 C 25/00 (2006. 01)

A 4 4 C 25/00

A

A 4 4 C 5/00 (2006. 01)

A 4 4 C 5/00

Z

A 4 4 C 7/00 (2006. 01)

A 4 4 C 7/00

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2008-6592 (U2008-6592)

(22) 出願日 平成20年8月22日 (2008. 8. 22)

(73) 実用新案権者 508272374

株式会社MNH

東京都調布市飛田給 1-4-18 リリーハ
イム103号

(72) 考案者 菅 喜嗣

東京都調布市飛田給 1-4-18 リリーハ
イム103号 株式会社MNH内

(54) 【考案の名称】 装身具の装飾体

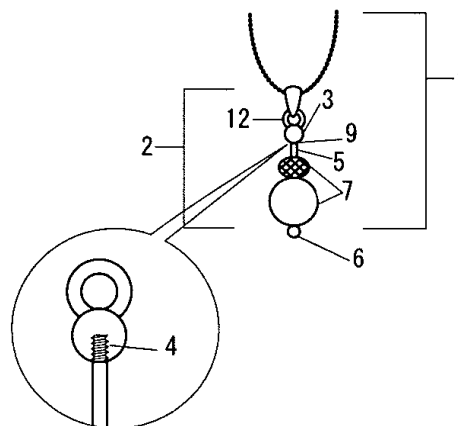
(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 装身具の装飾体の交換に加え、該装飾体を構成するパーツまで自由

に組替えること及び交換出来る接続部を増やすことによって表現できるバリエーションを増やせる装身具の装飾体を提供する。

【解決手段】 雄パーツに大ビーズパーツ7と小ビーズパーツ7が挿通され、雄パーツの先端を留め具パーツ3で結合する。留め具パーツ3には、ねじ切り穴4が設けられ、装飾体を構成するネジ切りを施された棒状の軸部5の先端をねじ切り穴4に差し込みネジ式結合出来るようする。また、装飾体2を構成するビーズパーツ7は、該軸の先端より挿通出来、雄パーツの頭部6は、ビーズパーツ7の穴より大きい為、ビーズが抜け落ちる事の無い構造となる。使用者は、装飾体の軸の長さやビーズパーツの大きさ及び色を組み替えることによって、幾通りもの装飾体のデザインを楽しむことが可能となる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

雄パーツと留め具パーツと組み替えパーツで構成された装身具の装飾体において、雄パーツは、雄パーツの軸部先端より組み替えパーツが脱着可能で、かつ組み替えパーツが抜け落ちないように軸部と頭部からなることを特徴とする装飾体。

【請求項 2】

組み替えパーツが、貫通穴の開いたビーズパーツであることを特徴とする請求項 1 の装飾体。

【請求項 3】

組み替えパーツが、筒状の内部に設けた貫通穴の開いた仕切りを留め具パーツ又は雄パーツの頭部とビーズパーツで挟んで固定させるカバーパーツであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 2 の装飾体。

【請求項 4】

雄パーツと留め具パーツは、雄パーツの軸部先端に設けたネジ山と留め具パーツに設けたネジ切り穴で結合する構造であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の装飾体。

【請求項 5】

雄パーツの頭部又は留め具パーツに更に雄パーツの軸部と結合可能なネジ切り穴を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の装飾体。

【請求項 6】

雄パーツの頭部又は留め具パーツに連結穴を有していることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の装飾体。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、ネックレス、ブレスレット、ピアス、イヤリング、アンクレット等の装身具の装飾体に関するもので、装飾体ごとの取り替えと、装飾体のパーツ組み替え及び接続部を増やすことで無数のバリエーションを可能とするものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、装身具の装飾体の交換が可能なものが開示されている。

【特許文献 1】特開 2005 - 198930 号**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

しかしながら、装飾体の交換のみでは自分独自のものを創作する点で画一的になることが多く、個性が重視される現在にあっては、使用者の満足に近づける装飾体は存在しなかった。

【0004】

更に、市販の装身具における装飾体を保持する留め具部分は外観上何の工夫もされてないことが多く、例えば、留め具の形状が大きいと、その剥き出しのままでは外観を損ない、また外からの衝撃により留め具が外れやすくなる危険性があった。

【0005】

また、本考案において、装飾体のビーズの交換が可能である為、購入時のビーズの大きさ以外のものを挿入した場合、結合部とビーズ間に僅かな隙間が生じ、軸部が見えてしまい、上下にスライドしてしまう点を解消する必要があった。

【0006】

そこで、本考案は、装身具の装飾体の交換に加え、該装飾体を構成するパーツまで自由に組替えること及び交換出来る接続部を増やすことによって表現できるバリエーションを増やせる装身具の装飾体を提供する。

【0007】

10

20

30

40

50

また、カバーパーツによって外観を損なわず、留め具が外れにくい装身具の装飾体を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0008】

請求項1に記載の考案は、雄パーツと留め具パーツと組み替えパーツで構成された装身具の装飾体において、雄パーツは、雄パーツの軸部先端より組み替えパーツが脱着可能で、かつ組み替えパーツが抜け落ちないように軸部と頭部からなることを特徴とする。

【0009】

請求項2に記載の考案は、組み替えパーツが、貫通穴の開いたビーズパーツであることを特徴とする。

10

【0010】

請求項3に記載の考案は、組み替えパーツが、筒状の内部に設けた貫通穴の開いた仕切りを留め具又は雄パーツの頭部とビーズパーツで挟んで固定させるカバーパーツであることを特徴とする。

【0011】

請求項4に記載の考案は、雄パーツと留め具パーツは、雄パーツの軸部先端に設けたネジ山と留め具パーツに設けたネジ切り穴で結合する構造であることを特徴とする。

【0012】

請求項5に記載の考案は、雄パーツの頭部又は留め具パーツに更に雄パーツの軸部と結合可能なネジ切り穴を設けたことを特徴とする。

20

【0013】

請求項6に記載の考案は、雄パーツの頭部又は留め具に連結穴を有していることを特徴とする。

【考案の効果】

【0014】

本考案の軸部と頭部からなる雄パーツであれば、雄パーツの軸部先端より組み替えパーツが脱着可能で、かつ組み替えパーツが抜け落ちない。

【0015】

次に、装飾体の組み替えパーツであるビーズパーツの個数、大きさ若しくは色彩又はこれらの組合せが自由に出来る。

30

【0016】

また、装飾体の組み替えパーツであるカバーパーツにより、外観を損うことなく、また留め具パーツが外れにくくなる。

【0017】

さらに、雄パーツと留め具パーツの結合構造を雄パーツの軸部先端に設けたネジ山と留め具パーツに設けたネジ切り穴で結合する構造で簡単に取り外しが可能になる。

【0018】

そして、雄パーツの頭部又は留め具パーツに更に雄パーツの軸部と結合可能なネジ切り穴を設けることにより、装飾体の形状自体も自由に替えられる。

【0019】

最後に、雄パーツの頭部又は留め具パーツに連結穴を有することで、ストラップ、ボールチェーン、ワイヤー等が通せるパチ環の取り付けが簡単に出来る。

40

【考案を実施するための最良の形態】

【0020】

雄パーツと留め具パーツと組み替えパーツで構成された装身具の装飾体において、雄パーツは、雄パーツの軸部先端より組み替えパーツが脱着可能で、かつ組み替えパーツが抜け落ちないように軸部と頭部から成っている。

そして、組み替えパーツのビーズパーツとカバーパーツの筒状内部の仕切りには、雄パーツの軸部が通せるよう貫通穴が開いており、カバーパーツは、仕切りを留め具パーツ又は雄パーツの頭部とビーズパーツで挟んで固定させる。

50

【 0 0 2 1 】

また、雄パーツと留め具パーツは、雄パーツの軸部先端に設けたネジ山と留め具パーツに設けたネジ切り穴で結合する構造にする。

【 0 0 2 2 】

そして、雄パーツの頭部又は留め具パーツに更に雄パーツの軸部と結合可能なネジ切り穴を設けても良い。

【 0 0 2 3 】

なお、雄パーツの頭部にネジ切り穴を設けた場合は、留め具パーツ側に連結穴を設けることが可能である。

【 実施例 1 】

【 0 0 2 4 】

以下、図面を参照して本考案に係る装飾体の一実施例を説明する。

図 1 は、雄パーツに大ビーズパーツ 7 と小ビーズパーツ 7 が挿通され、雄パーツの先端が留め具パーツ 3 で結合された装飾体 2 である。

【 0 0 2 5 】

留め具パーツ 3 には、ねじ切り穴 4 が設けられ、装飾体を構成するネジ切りを施された棒状の軸部 5 の先端をねじ切り穴 4 に差し込みネジ式結合出来るようになっている。

また、装飾体 2 を構成するビーズパーツ 7 は、該軸の先端より挿通出来、雄パーツの頭部 6 は、ビーズパーツ 7 の穴より大きい為、ビーズが抜け落ちる事の無い構造になっている。

【 0 0 2 6 】

使用者は、装飾体の軸の長さやビーズパーツの大きさ及び色を組み替えることによって、幾通りもの装飾体のデザインを楽しむことが可能となる。

【 0 0 2 7 】

ここで、軸部は、棒状の軸に限らず、図 2 のような曲線状の軸でも図 3 のようなボールチェーンのように軸自体が揺れる構造でも構わない。更に、例えば針金のように自分で軸の形状を変形できる素材であっても良い。

【 0 0 2 8 】

また、雄パーツの頭部 6 は、最初から軸と一体構造になっているものでも別途ビーズ穴より大きいパーツを固定させたものでも良い。

【 0 0 2 9 】

なお、結合構造は、取り外し可能な結合構造であれば何でも構わないが、例えば本実施例のネジ式結合以外にも、はめ込みロック式の結合、挟み込み式の結合、溝穴にはめ込んでスライド結合する方法など周知の技術を利用しても構わない。

【 0 0 3 0 】

また、交換雄パーツや交換ビーズパーツは弊社規格のものか市販されているものが代用できればそちらを使用しても構わない。

【 0 0 3 1 】

本実施例では、留め具パーツ 3 側に連結穴を設けた仕様になっているが、雄パーツを構成する頭部 6 側に連結穴を設けた仕様でも構わない。

【 実施例 2 】

【 0 0 3 2 】

次に図 4 は、実施例 1 で図示した装飾体 2 から小ビーズパーツ 7 を抜き取り、軸部が少し短めの雄パーツに交換した状態で留め具パーツ 3 から大ビーズパーツ 7 の一部分までをカバーパーツ 8 で覆った装飾体である。

【 0 0 3 3 】

本実施例のカバーパーツ 8 は、筒状の内部に貫通穴の開いた仕切りを設けており、断面が図 5 のように、上凹部と下凹部を有する H 型構造になっており、上凹部には留め具パーツ 3 が収まり、下凹部には大ビーズパーツ 7 の上半球部分が収まる構造で、カバーパーツの仕切りを留め具パーツとビーズパーツで挟んで固定させる仕組みになっている。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 4 】

使用者は、カバーパーツにより、留め具パーツからビーズパーツの一部まで隠した使用が楽しめ、外観を損なわず、結合部が直接外部に触れなくなることで留め具が外れにくくなるメリットを有する。

【 0 0 3 5 】

ここで、上凹部または下凹部の凹み部分を深くすることで、連結穴部分やビーズパーツの下半球まで覆う仕様も可能である。本実施例は王冠の形状であるが用途にあわせて形状を変更しても構わない。

【 0 0 3 6 】

逆に、例えば留め具または結合部の外観が気にならない程度であれば、上凹部または下凹部の凹み部分を浅くすることで、カバーパーツの断面をH型構造からU字型や逆U字型構造に変更しても構わない。

【 0 0 3 7 】

なお、カバーパーツがビーズパーツをすり抜けて落ちなければ仕切りを設けない筒状のカバーパーツでも構わない。

【 0 0 3 8 】

次に、結合部とビーズパーツ間に生じた僅かな隙間は、オーリング等を軸に挿入して固定すれば、ビーズパーツが上下にスライドしなくなる。

【 0 0 3 9 】

本実施例では、留め具パーツ3側に連結穴を設けた仕様になっているため、カバーパーツの仕切りは、留め具パーツとビーズパーツに挟まれているが、仮に雄パーツの頭部に連結穴を設けた場合、カバーパーツの仕切りは、雄パーツの頭部とビーズパーツに挟まれる仕様になる。

【 実施例 3 】

【 0 0 4 0 】

更に図6は、まず、実施例1で図示した装飾体2の留め具パーツ3をねじ切り穴を2ヶ所設けた留め具パーツに交換する。

そして、該2ヶ所のねじ切り穴にそれぞれビーズパーツを挿入した雄パーツを結合し、各雄パーツの頭部6に新たなねじ切り穴を設けることによって、更にビーズを挿入した雄パーツを結合した装飾体である。

【 0 0 4 1 】

留め具パーツに設けたネジ切り穴の数は3以上であっても構わない。留め具の大きさに応じて穴数を決定すればよい。

【 0 0 4 2 】

また、雄パーツの頭部の新たな結合部を複数設けても構わない。

【 0 0 4 3 】

なお、実施例1同様に結合方法は、結合可能な構造であれば何でも構わないが、例えば本実施例以外にもはめ込みロック式の結合、挟み込み式の結合、溝穴にはめ込んでスライド結合する方法など周知の技術が考えられる。

【 0 0 4 4 】

このように、好ましい実施例を挙げて本考案を説明したが、本考案はその実施例に限定されるものではなく、本考案の要旨の範囲内で種々に改変できる。

例えば、軸部、ビーズパーツ、カバーパーツの材質は、の材質は、天然石、人工石、木製、プラスチック製、樹脂製、ガラス製、クリスタル製、金属製、貴金属製のものであっても構わない。そして、ビーズパーツの形状は、球状の他、玉状、ハート形状、星形状、具象形状等であっても構わない。また、ビーズパーツの色は、有色、有色透明、無色透明であっても構わないし、これらの表面に模様等を施しても構わない。

ビーズパーツの大きさも特に限定しない。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 4 5 】

10

20

30

40

50

【図 1】本考案に係る雄パーツにビーズパーツが挿通され、該雄パーツの先端が留め具で結合された装飾体である。

【図 2】本考案に係る軸部の形状（曲線構造）を表す図である。

【図 3】本考案に係る軸部の形状（ボールチェーン構造）を表す図である。

【図 4】本考案に係る装飾体の留め具パーツと装飾品の結合部をカバーパーツで覆った図である。

【図 5】カバーパーツの H 型断面を示す図である。

【図 6】本考案に係る装飾体の留め具パーツと雄パーツの頭部にネジ切り穴を設けることによって考えられる装飾体の一例を示す図である。

【符号の説明】

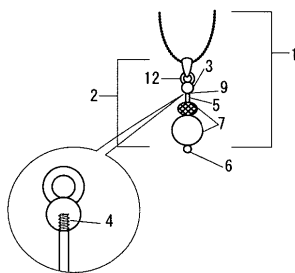
10

【 0 0 4 6 】

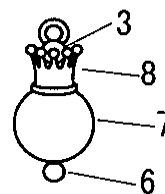
- 1 装身具
- 2 装飾体
- 3 留め具パーツ
- 4 ねじ切り穴
- 5 軸部
- 6 頭部
- 7 ビーズパーツ（大ビーズパーツ又は小ビーズパーツ）
- 8 カバーパーツ
- 9 結合部
- 10 ボールチェーン軸
- 11 曲線軸
- 12 連結穴

20

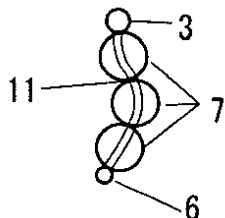
【図 1】



【図 4】



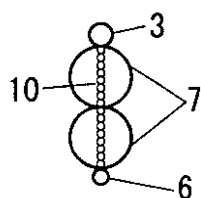
【図 2】



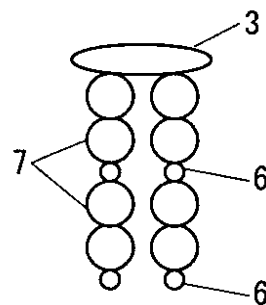
【図 5】



【図 3】



【図 6】



【手続補正書】**【提出日】**平成20年10月17日(2008.10.17)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】**実用新案登録請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

雄パーツと留め具パーツと組み替えパーツで構成された装身具の装飾体において、雄パーツは、雄パーツの軸部先端より組み替えパーツが脱着可能で、かつ組み替えパーツが抜け落ちないように軸部と頭部からなることを特徴とする装飾体。

【請求項 2】

組み替えパーツが、貫通穴の開いたビーズパーツであることを特徴とする請求項 1 の装飾体。

【請求項 3】

組み替えパーツが、筒状の内部に設けた貫通穴の開いた仕切りを留め具パーツ又は雄パーツの頭部とビーズパーツで挟んで固定させるカバーパーツであることを特徴とする請求項 1 または 2 の装飾体。

【請求項 4】

雄パーツと留め具パーツは、雄パーツの軸部先端に設けたネジ山と留め具パーツに設けたネジ切り穴で結合する構造であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の装飾体。

【請求項 5】

雄パーツの頭部又は留め具パーツに更に雄パーツの軸部と結合可能なネジ切り穴を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の装飾体。

【請求項 6】

雄パーツの頭部又は留め具パーツに連結穴を有していることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の装飾体。